

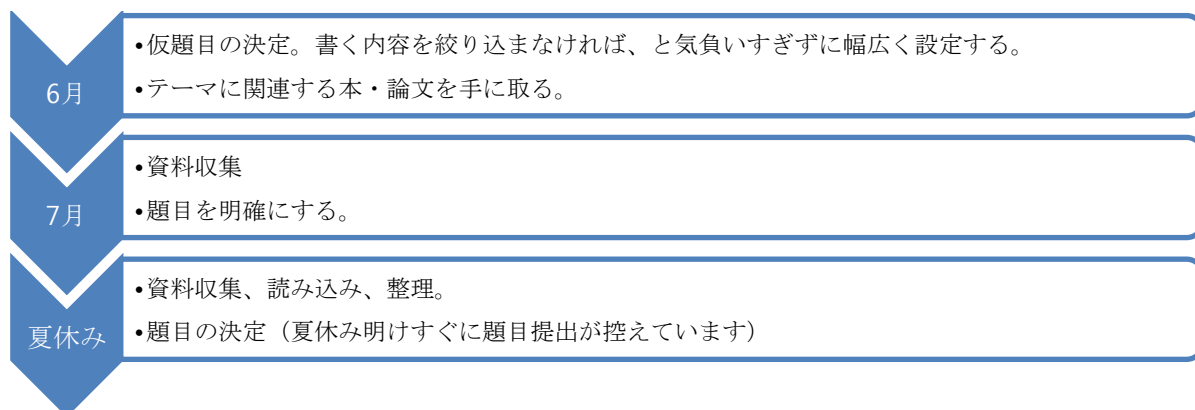
## 第一回卒業論文説明会

2014年6月5日  
文学研究科修士一回生  
鷺見燈璃

### 卒業論文作成について

卒業論文提出まで残り七か月となりました。今回は私が卒業論文を作成した体験と、反省を踏まえて、少しでも皆さんの卒業論文作成の手助けになれるようお話しさせていただきます。

#### 6月から夏休みにかけて



※この時期は忙しく、卒業論文どころではないという方も多々おられると思いますが、ゼミに来たついでに本を一冊借りるなど、空いた時間を有効活用して、卒論作成のリズムを作ること。

#### 題目決定までのポイント

##### Q 卒業論文のテーマが決められない

A 今まで受けた講義のノートやプリント・書いたレポートを見返して、気になる語句を書き出す。また村上速水先生の『親鸞教義とその背景』を読んでみることもおすすめ。その中から気になった語句・面白そうなもの・あるいは疑問をピックアップして、調べる。そのうえで先生や先輩に相談するとよい。

##### Q 資料の集め方、資料が多すぎて何から読めばいいかわからない

A 図書館蔵書検索や、論文検索サイト CiNii で興味のある単語から検索を試みる。たとえば「往生」と打ち込んでみると 1000 を超える本・論文がでてくるから、他のキーワードとともに検索して数を絞り込む。また、論文の最後のページに書かれている参考文献も読む。この資料収集は夏休みに入る前から取り掛かること。また、時期が遅くなるほど本が借りづらくなるため、コピーをとること。

## 9月から口述試問にかけて

9・10月

- 題目提出（10月上旬）。提出後は変更できないので先生とよく相談する。
- 章立てを考え、とにかく書き始める。

11・12月

- この時期はひたすら書き続けて、年内には必ず完成させる。
- 「卒業論文作成マニュアル」を参照して、論文の形式を整える。

年明け

- 提出ぎりぎりまで読み直す。誤字・脱字があると減点される。
- 口述試問にむけて準備をする。何を聞かれても答えられるように。

※バックアップはしっかり取っておく。思いがけないことが起きることもあるので、USBにいくつか保存しておく。

## 卒業論文作成のポイント

### ○論文の書き方

章・節は論を展開させる設計図のようなもの。章立てする際には、問題提起からどのように結論付けるかイメージすることが大切。章立てができれば書きやすいところから書く。

### ○資料を読む際に気を付けること

同じ分野の論文であっても、著者の背景によって主張は変わる。論文を鵜呑みにするのではなく、自分自身の考えを持つことが大切である。そのためにも様々な論文を読むこと。また真宗学における専門用語は、こまめに辞書を用いて調べること。

### ○資料整理のコツ

資料が探しやすいように整理する。重要箇所や疑問点にマーカーをひきどんどん書き込む。付箋や色分けをすると、後からすぐに見つけることができ便利。また、資料をカテゴリー別にファイルに入れる。必要ないと感じた資料であっても、捨てずに一つにまとめる。